

## 平成31年度「全国学力・学習状況調査」の状況報告

4月18日に全国の小学校6年生を対象に学力・学習状況調査が実施されました。8月29日に公表された結果を受けて、港小学校の状況をお知らせします。なお、この調査は6年生のみの調査であり、学力も国語・算数のみの調査です。この調査結果が、子どもたちのすべての学力や生活の様子を表しているわけではありません。

### 1 各調査結果より

#### <国語>

- できていた領域 「話すこと・聞くこと」
  - ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って自分の理解を確認するための質問をする。
- △課題がある領域 「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質」
  - ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。
  - ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。
  - ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。
  - ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。
  - ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。

#### <算数>

- できていた領域 「数量関係」
  - ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。
  - ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる。
- △課題がある領域 「数と計算」、「量と測定」、「図形」
  - ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。
  - ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に除法に関して成り立つ性質を記述できる。
  - ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。
  - ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる。

#### <質問紙>

- よかった点
  - ・毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きている。
  - ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある児童が多い。
  - ・読書が好きな児童が多い。
  - ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている児童が多い。
  - ・算数の勉強が好きな児童が多く、算数の授業の内容はよく分かると感じている児童が多い。
  - ・算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えようとする児童が多い。
- △改善したい点
  - ・自分にはよいところがないと思っている児童がいる。
  - ・学校の授業時間以外に勉強している時間が短く、家で学校の授業の予習や復習をしている児童が少ない。
  - ・国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいく児童が少ない。
  - ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童が少ない。
  - ・今、住んでいる地域の行事に参加する児童が少ない。

### 2 今後の本校の取組について

#### 学校で力を入れたいこと

- ・引き続き、読書活動や読み聞かせ活動を継続し、読書好きを増やし、描写を根拠に心情や場面を捉えることのできる児童を増やす。
- ・根拠のある考えをもたせるために学習指導の過程において、教材教具を工夫することに力を入れるとともに、自信をもって発言する場を設定する。
- ・子どもの思考の流れに沿った単元を展開し、子どもが主体的に課題を解決するような授業を創造する。
- ・学習指導の過程において、仲間との関わり方を工夫することで、考えが深まるように努める。
- ・引き続き、算数の少人数指導を充実させ、個々に合った指導法を工夫する。

#### 家庭にお願いしたいこと

- ・予習や復習に進んで取り組むことができるように、家庭学習をする習慣の定着を図る。
- ・テレビやゲームの時間、携帯やスマートフォンの使い方など、約束事項を再確認し、家庭学習の時間を確保する。
- ・家族で地域行事やPTA活動になるべく参加し、地域・家庭・学校が連携して子どもを育てる。
- ・学校生活に前向きに取り組むことができるように、学校での出来事について、一日一回は親子で話をし、温かい励ましの言葉をかける。
- ・目標をもって学校生活に過ごせるように将来について、親子で話をする機会をつくる。

今後も学校と家庭・地域が協力して、子どもたちを育てていきたいと思っております。  
ご協力をお願いいたします。